

高島地域材流通促進事業・林業6次産業化事業体プロデュース事業

概要

森林面積が92%を占める高島市朽木地域は、約半数はスギを主体とした人工林が占めており、これらが本格的な利用期を迎えている。朽木地域の基幹産業である林業の再興を図るには、市内で木材加工を行い、その販売を担う6次産業化事業体を設立し、市内産木材に付加価値をつけることが望まれている。

滋賀県高島市



森林組合との
意見交換会

事業の内容

事業の内容

6次産業化事業体を設立するための調査業務と事業計画の策定

総事業費

10.1百万円

ポイント

【1次産業としての強化】

施業集約化により、素材生産量の増加。

【事業体設立に伴うリスク】

事業体の運営における「仮説と検証」を十分に行い、可能な限り、リスクを排除する必要がある。



先進地視察状況

事業の成果

朽木地域を中心とした高島市全体の森林・林業の再生のため、木材市況の変化を勘案し、「林業6次産業化事業体」の事業計画を策定した。

森林・林業の再生と地域経済への貢献、林業関係者の意識醸成を促し、リスクが伴うものの、実現性の高い計画となった。